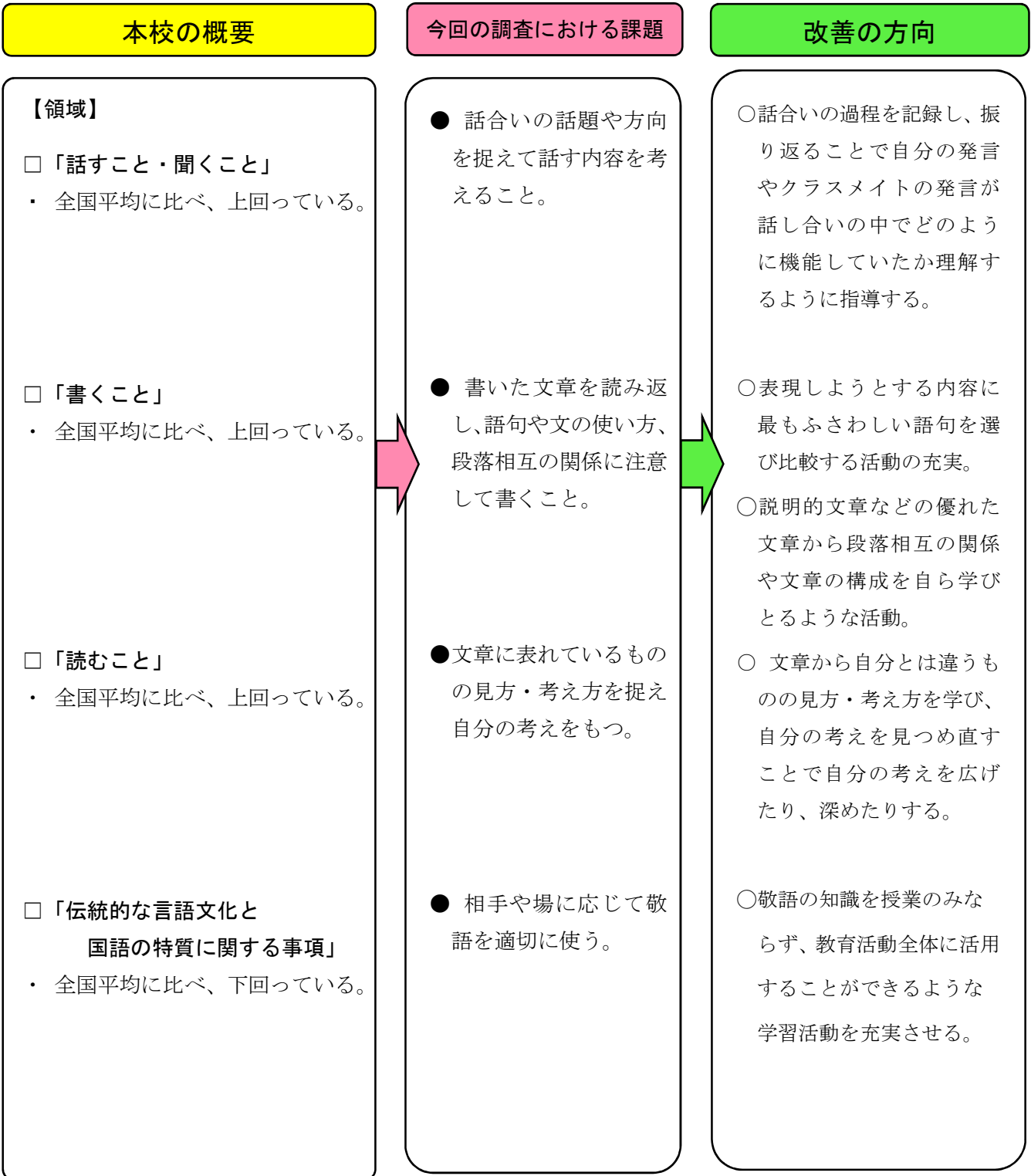


令和3年度 「全国学力・学習状況調査」における本校の結果

札幌市立定山溪中学校 第3学年

【国 語】



「上回っている」 ⇒ +3.1 ポイント以上
 「ほぼ同程度であるが、やや上回る」 ⇒ +3.0 ポイントの範囲で全国平均以上
 「ほぼ同程度」 ⇒ 全国平均と同じ
 「ほぼ同程度であるが、やや下回る」 ⇒ -3.0 ポイントの範囲内で全国平均以下
 「下回っている」 ⇒ -3.1 ポイント以下

令和3年度 「全国学力・学習状況調査」における本校の結果

札幌市立定山溪中学校 第3学年

【数 学】

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【評価の観点と領域】

『知識理解』に関する問題

- 「図形」
 - ・ 全国平均とほぼ同程度である。
- 「関数」
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。
- 「資料の活用」
 - ・ 全国平均に比べ、下回っている。

『技能』に関する問題

- 「数と式」
 - ・ 全国平均に比べ、やや下回っている。

『見方や考え方』に関する問題

- 「数と式」
 - ・ 全国平均に比べ、上回っている。
- 「図形」
 - ・ 全国平均に比べ、大きく上回っている。
- 「関数」
 - ・ 全国平均に比べ、やや上回っている。
- 「資料の活用」
 - ・ 全国平均に比べ、上回っている。

- 表やグラフなどからデータの傾向を適切に読み取ること

- データ（表）を活用して、数学的に処理すること（中央値の求め方を理解していること）

- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること

- 度数分布表やヒストグラムがどのようにつくられているかを理解させる

- データに基づいて不確定な事象を考察する場面において、代表値を求めることが必須となる。中央値や平均値、最頻値などの意味を理解させる必要がある。

- 関数において提示されている条件から、答えを求めるにあたり、表や式、グラフのどれを使うかを決め、適切に処理する力をつけることと自分が求めたやり方をきちんと順序立てて説明する力を身に付ける必要がある。